

教科	工業	科目名	課題研究	単位数	3
学科	電気科	学年	3 学年	履修区分	必修
使用教科書	なし				
副教材など	必要に応じて、図書館やインターネットなどの資料を利用する。				

1. 科目の目的

工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、統合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2. 授業の内容と進め方

生徒自らが、作品制作、調査・研究・実験、現場実習、資格取得に関する4つの分野に関する研究テーマを設定し、計画を立て、製作や調査研究などを行い、結果の整理・考察及び発表を通して、研究を深めるとともに専門性の深化を図る。

3. 学習する上での留意点

- ①生徒の興味・関心、進路希望に応じて個人又はグループで適切な課題(研究テーマ)を設定する。
- ②課題設定の際、学校の施設・設備、費用、完成までの期間、生徒自らの能力・適正などを考慮する。
- ③研究成果を整理・考察し、分かりやすく発表できるように研究を深める。
- ④研究成果の発表会を設定し、保護者や地域住民も参観できるように配慮する。

4. 課題等について

特になし

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	自らが設定した課題に対して関心を持ち、それを成し遂げるために積極的に取り組み、努力する。
思考・判断・表現	課題解決を図る中で、専門的な知識や技術を十分に活用して思考・判断し、報告・発表ができる。
技 能	問題解決に必要な工具・材料・書籍等を適切に選択し、正しく利用できる。
知 識 ・ 理 解	課題への取り組みの中で十分な知識や技術が身に付いた。また、科学的な考察力や探究心を身に付けることができた。

6. 評価の方法

評価については、下記事項を考慮し、総合的に判断する。

- ①課題に取り組む姿勢・態度
- ②日誌の内容
- ③課題研究報告書の内容
- ④研究成果発表の内容・態度

《指導計画》 科目名 課題研究

3 学年

3 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	グループ編成 テーマ設定 年間研究計画の作成	計画的な研究の推進	助言・観察 自己評価
	5	情報収集, 部品調達, 設計		助言・観察 自己評価
	6	調査, 研究, 製作		助言・観察 自己評価
	7	同上		
二 学 期	9			
	10			
	11	研究成果の整理及び発表準備	まとめ, 発表準備	助言・観察 自己評価
三 学 期	12			
	1	研究成果の発表会 研究成果報告書の提出	発表会 報告書提出	助言・観察 自己評価 相互評価
	2			
	3			